

平成26年度第1回千葉市若葉区公民館運営審議会議事録

1 日 時

平成26年6月26日（木） 14時00分～15時30分

2 場 所

千城台公民館 セミナー室

3 出席者

審議会委員：13人

木川 茂雄委員 鈴木 弘志委員 但田 禮子委員 猪野 寛委員
深山 輝夫委員 成田 敏子委員 江崎 正治委員 横田 美矢子委員
森谷 和子委員 内山 英昭委員 近藤 ワコ委員 大澤 見子委員
小島 千鶴委員

事務局：10人

鶴岡館長（千城台公民館） 小出館長（更科公民館） 中川館長（白井公民館）
深山館長（加曽利公民館） 押尾館長（大宮公民館） 中村館長（みつわ台公民館）
徳増館長（若松公民館） 盛合館長（桜木公民館） 山老副館長（千城台公民館）
山本主査（千城台公民館）

4 議 題

- （1）平成25年度各公民館の利用状況について
- （2）平成25年度各公民館の事業報告について
- （3）その他

5 会議経過

- （1）開会（事務局）
- （2）千城台公民館長あいさつ
- （3）委嘱状交付
- （4）委員紹介（事務局）
- （5）委員長・副委員長の選出
委員の互選により、委員長に内山委員、副委員長に大澤委員を選出。
- （6）委員長・副委員長あいさつ
- （7）事務局職員紹介（事務局）
- （8）議事録署名人の指名
委員長が但田委員及び森谷委員を指名。承認される。
- （9）議題（委員長により議事進行）

6 議事の概要

- （1）平成25年度各公民館の利用状況について
各公民館の利用人数、利用回数、公民館図書室の整備・貸出状況等について報告。

委員長 ただ今、事務局から平成25年度各公民館の利用状況について説明がありましたが、これについて何かご質問・ご意見がありましたらお願いします。

委員 利用者が減っている所はどういう事情か、雪の影響とか自然災害によるとか、理由がわかったら教えていただきたい。

事務局 昨年度は大雪がありました。千城台公民館では台風の影響により文化祭を中止しました。その他、地域の事情もあったかと思います。サークルへの新規加入者が減少している館もあり、会員の高齢化によるものもあると思います。館によっては、施設改修があつて、その間、部屋貸しができなかったということもあります。

委員 公民館の年間の図書購入予算はどれくらいでしょうか。

事務局 今、予算の資料がありませんので、後ほど回答します。

(2) 平成25年度各公民館の事業報告について

若葉区事業の内容、各館主催事業の内容及び受講状況等について説明。

委員長 ただ今、事務局から平成25年度各公民館の事業報告について説明がありましたが、これについて何かご質問・ご意見がありましたらお願いします。

事務局 先ほど、委員から図書の予算についてご質問がありましたが、若葉区では年間130万円で、図書室がある館が5館ございます。従いまして、1館当たり、26万円の予算となっております。

委員 主催事業の広報活動では、各館努力されていることと思いますが、千葉市役所のフェイスブックやSNSを利用した広報活動を行う予定はありますか。

事務局 本課である生涯学習振興課の方で、公民館でもホームページを使った広報を進めていこうということで、ただ今検討している状況です。

委員 みつわ台公民館のこどもニュースの発行はいいことだと思いますが、内容はどのようなもので、どこで配るのでしょうか。

事務局 内容は、育成委員会の事業・年間30回と、それに加えて公民館の主催事業です。それらの事業の募集を、小学校の児童と育成委員会に配布して、公民館で申込みの受付を行います。みつわ台北小・南小・源小の3校で、約1,300人ほどですが、毎月配布しています。

委員 若松公民館の老人向け携帯電話教室とスマートフォン教室ですが、これは本人が携帯電話を持ってくるのか、講師となっている会社が用意するのか、どのようにして行っているのでしょうか。

事務局 共通のもので指導する方がいいので、指導者に用意してもらいます。その関係で、定員を決めていまして、人気は高いのですが、人数を限らせていただいています。

委員 標準的な操作の仕方を1つの携帯電話で教えて、後は自分の携帯電話に応用してもらうということですね。

事務局 はい。そうです。

委員 今まではパソコン教室でしたが、これからはスマホ教室ということですね。

委員 みつわ台公民館の縫い物教室ですが、学校ではあまりやらないので、こういう教室はとても大事だと思います。今回は何を作ったのですか。

委員 25年度は、もうひとつのポケットという、今流行りのポケットのない洋服を
(講師) 着ている子どもの服に携帯用のポケットを付けました。若い子には似合っている
ので、それを自分で作ろうということで行いました。

委員 対象者は。

委員 小学1年生から6年生です。学年によって、少しサポートしています。今、
(講師) 縫い物が学校ではほとんど行われていない時代なので、針に糸を通すことに抵抗
のない子どもになってもらいたいということと、自分の作ったものを使うという
こと、もう一つは、縫い物という言葉を残していきたいという思いがありました。

委員 若葉区事業の親業講座で、回数が3回、受講者が13人いたということですが、
結果が13人ということですか。

事務局 申込者が13人、回数は3回です。3回で、延べ32人ということです。

委員 この事業に関しては、毎回のことだが、受講者が少し少ないのではないかと思います。
受講者から、もったいないという声があつて、対象者が1歳から高校生
の子を持つ保護者ということですが、対象者も年齢で区切らないと悩みもちがう
ので、1歳から高校生の子を持つ親ということではなくて、もう少し対象者を
絞ると集まる方も多くなるのではないかという気がします。

委員 公民館の文化祭のことでお聴きしたいのですが、延の受講者数を見ると、千城台
公民館の受講者数が突出している。1日だけで2,600人で、他の公民館は
2日間で報告書に記載の人数ということで、桜木公民館では年々減少していて
子どもの集まりが悪くなっているというお話もありましたが、後援事業なので、
公民館がどこまで関わるかということもありますが、文化祭を進めるにあたって、
どういう課題が出てきているのか。また、何か工夫していることとか、参加団体
に協力をお願いしていることとかあれば、教えていただきたいのですが。

事務局 まず千城台ですが、去年は台風の影響で、一般の文化祭は中止しています。少年
文化祭は、地域の育成委員会やボーイ・ガールスカウト、また、学校長さんにも
ご協力をいただいております。25年度は天候にも恵まれ、前年よりも200
名程度多く来たという状況です。これについては、公民館は部屋を貸すだけで、
地域の育成団体等に中心になってもらい、開催をしています。PRについても、
各々の団体に行っていただいております。参加人数については、開催は1日
だけですが、前日に準備もありますので、そちらに関わった人数も入っています。
次に、更科公民館ですが、規模は小さいです。地域の特性でもあります、
公民館に集まるのが容易ではない。自家用車を運転できなければ、なかなか

来れない。コミュニティバスの本数も少ない。近くの方でないと歩いて来れないということで、どうしてもサークルの方を中心にとというのが現状で、これを打開するのはなかなか難しい気がします。もう1つの理由は、かつて小学校を会場に文化祭を開催していたことがあり、自治会と協力して開催していたこともあって、ある程度規模も大きかったのですが、児童の数も大人の数も少なく、毎年、自治会長さんが替わるということもあり、地域の他の役職に携わっている方もいて、文化祭の開催に関わることが大変という面もあって、何年か前から公民館を会場にしたという経緯があります。従って、千城台の少年文化祭のような賑わいは、なかなか難しい。更科の場合は、サークル活動を中心に、日頃の成果を見せ合うという形にならざるを得ないという気がします。

次に白井公民館ですが、広報活動は自治会の連絡協議会でちらしを配って、各自治会の回覧板で回しています。バザーを開いて、できるだけ多くの人に来てもらうようにしています。地元小中学生の作品も展示しています。さらに、サークルの中でお客さんを呼びやすい和太鼓などをステージで行っています。ただし、25年度は、2日目が区民まつりと重なってしまい、だいぶお客さんを取られてしまいました。今年は日程を考えたいと思っています。

大宮公民館の文化祭の進め方は、1日目が展示を中心としたものを取り込み、2日目は音楽などの発表を行い、2つをセットで1つの文化祭としています。展示と発表を共同でやれば、かなりの人が来ると思いますが、公民館の規模からすれば、700人という人数はかなりの盛況です。子どもたちの寄り場として考えることもあり、興味をひく模擬店などを出せば、普段来ない子どもたちが誘い合って来てくれると思いますが、それをやると図書室が通常どおり開館していますので、駐車場がなくなり、図書室業務で問題が生じてしまいます。サークルの皆さんも、一杯いっぱい的人数で自分たちの活動を行っていますので、そちらに人員を割くというのは難しい状況です。公民館職員も、通常の図書室業務との兼ね合いがある。そういう状況の中で、展示と発表を分けてスムーズに行うこととした結果がこの数字となっています。

みつわ台公民館でのPRの仕方ですが、サークルが約40あるので、サークルごとにポスターを作って公民館に掲示しています。それと、周辺自治会宛てに招待状を出しています。また、団地にポスターを貼らせていただいています。周辺の保育園、幼稚園の園児の絵を公民館に貼り出しますと、子どもたち、親御さん、おじいちゃん、おばあちゃんなどが絵を見にいらっしゃることもあります。受講者の数は、連絡協議会にカウントをお願いして、出入りの数をカウンターでカウントしています。周辺の団地の方々に対して、いかにPRし、来ていただくかが大事だと思っています。

若松公民館では、PRとして、サークルとクラブ連協の方がポスターを掲示

しているほか、地元の中学校の文化祭にクラブ連協のサークル団体が参加し、交流を図りながら中学生にも紹介しています。当館は建物が狭いため、パーテーションで1つの部屋を3つに区切っていることもあって、2日間を発表と展示に分けて開催しています。駐車場が狭い中で、1日目にはバザーを行っていますが、2日目は使えませんので、工夫しながら行っています。クラブ連協の皆さんにもご協力をいただいておりますが、参加者は自然に減ってきているようです。

桜木公民館では、2日間に分けて展示と発表を行っています。人数が少なくなっているのは、文化祭を行っているのがクラブサークル連協ですが、連協から少しずつ抜ける団体が出ていて、連協に入っている団体が少なくなったということが挙げられると思います。その理由としましては、連協に会費を納めるということがあるわけですが、1つの団体の構成人数が少なくなってきたので連協には入れないという形で、連協から抜けていっているため、当然、文化祭でも展示・発表が少なくなり、そうなれば、それだけ見に来る人も少なくなってしまう。昨年度は、子ども中心のものがなくて、発表と言っても、カラオケ、社交ダンス、舞踊、フラダンスといったものが多く、子どもたちが見に来るわけにはいかないなと思って見ていました。その前の年には、近くの学校のブラスバンドを呼んだということもあって、その時は子どもたちも結構集まったようなので、今年は、小学校・中学校に、文化祭に出展できないかどうか話をして、検討を進めているところです。

委員 千城台公民館の少年文化祭の件ですが、対象は小学生で、千城台の東西南北と旭小、坂月小、吉岡小、小倉小が対象となっていて、全ての児童にちらしが行くよう、学校を通じて配布しています。ボーイ・ガールスカウト、子供会、育成委員会、相談員の方にも協力していただき、子どもに関係する全ての指導者が前日から準備をしまして、1日中子どもたちに指導していただいています。テーマが体験学習、手作りでいろいろなものを作る、ということなので、毎年、学校ごとにいろいろなテーマを考えていただいて、子どもたちが自分で作れることをしていただいています。また、育成委員会と相談員、ボーイ・ガールスカウトには模擬店を出していただいて、40年経っても値段を変えず、子どもたちに提供しています。さらに、地域の指導者の方には、子どもたちに生け花や日本の伝統であるお茶を毎年教えていただいております。子どもたちが1日あればいろいろなものを体験できるということで続けています。学校の先生方にもいろいろなものを教えていただけるので、子どもたちも大変喜んでいます。毎年1月の最終日曜日ということで、日付も変えず、ずっと同じ形を貫いているので、これだけの子どもたちが参加してくれていると思っています。

(3) その他

委員長から委員に意見・質問を求める。

委 員 25年度の最後の審議会の時に、28年度から指定管理制度になり、コミュニティセンターと同じようにお金も徴収すると、市の方から説明がありましたが、ボーイスカウトとか、教育に携わっている団体は、今すごく助かっているのですが、そのような形に進んでいくのか、わかる範囲で教えていただけると助かります。

事務局 公民館のあり方につきましては、現在、検討している段階です。まだ方針決定もされていません。今後、公民館がどのようなのがいいのか、運営をどうしたらいいのかということを、現在検討中でありまして、まだ確定はしておりません。今後、方針が決定されましたら、本審議会でご説明をさせていただきたいと考えております。

委 員 確認ですが、次回は、いつ、どんなことをやるのでしょうか。

事務局 年2回ということで決まっています。何かあった場合は臨時ということもありえますが、次回は来年の3月になります。議会終了後に、予算等を含めまして27年度の事業計画案等について、ご審議をいただきたいと思います。

委員長 他にありますか。

委 員 特になし。

委員長 ないようですので、以上で本日の議題を終了させていただきます。

(問い合わせ先) 千葉市教育委員会生涯学習部

千城台公民館

電話：237-1400